

【試合結果】

2018年4月30日(月) 12:30~

会場 網走総合体育館

結果	北見北	48	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>4</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>6</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	14	—	13	4	—	9	15	—	6	15	—	17	—			45	北見光西
14	—	13																		
4	—	9																		
15	—	6																		
15	—	17																		
—																				
審判	主審	庄司 望美	副審	菊地 学																



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見北										
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則	
4	土橋 ななみ	×	14	2	4	0	2	2	1	
5	志賀 朱里	×	14	2	4	0	2	1	5	
6	西尾 恵	×	8	0	2	4	3	0	3	
7	國村 彩歌									
8	松田 彩佳	×	3	0	1	1	1	1	4	
9	山中 紫草									
10	熊谷 結愛									
11	小山 琉璃									
12	鈴木 菜々胡	/	2	0	1	0	2	1	0	
13	国仙 唯奈									
14	木内 愛華	×	1	0	0	1	2	0	2	
15	佐藤 紫桜里									
16	田中 遥菜	/	6	0	3	0	1	1	2	
17	奥山 陽菜									
18	立花 あみん									
C	大浦 幸一									
合計			48	4	15	6	13	6	17	

北見光西										
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則	
4	石井 里菜	×	13	2	3	1	1	2	2	
5	中川 美晴	×	13	0	6	1	1	2	2	
6	米田 陽菜乃	×	0	0	0	0	2	0	2	
7	平下 結夏	×	6	0	1	4	0	6	3	
8	田口 愛子	×	9	1	1	4	1	0	3	
9	大野 優衣	/	4	0	1	2	1	0	5	
10	石井 美優	/	0	0	0	0	0	0	0	
11	飯田 侑未									
12	加藤 美咲									
13	植村 一華									
14	矢崎 真愛									
15	吉岡 奈央									
16	佐藤 陽茉莉									
17	竹田 玲奈									
18										
C	宇野 貞嘉									
合計			45	3	12	12	6	10	17	

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q、北見北4、5、6、8、14、光西4、5、6、7、8でスタート。両チームともに何度も対戦を繰り返しており、お互いの手のうちは把握済み。北見北はインサイド、アウトサイドを巧みに使い分け、ボールと人が止まらないバスケットを展開。一方の光西は7のインサイドを起点としてカッティングやドライブが主体。光西は激しいディフェンスからのブレイクで点数を重ね、開始5分半で9-12と光西がリード。開始6分半、光西7が3ファウルで交代。そこから均衡が崩れ始め、1Qは14-13で北見北がリードして終了。

2Q、北見北は3Pシュートで、光西はブレイクからのレイアップ系で得点を積もうと試みるが、肝心のフィニッシュが決まらない。開始4分で16-22と光西がリード。北見北はチャンスを作ろうとドライブから合わせを作るが、光西の素早いヘルプにパスミスを繰り返してしまう。光西は多くのチャンスを作り出すが、シュートが決まらず点差は開かない。第2Qは18-22と光西がリードして終了。

3Q、開始3分、北見北が連続得点で25-22と逆転に成功。光西はファウルをもらいフリースローで得点をつなぐ。光西は北見北が単発な3Pになってきたところを逃さず、ブレイクからの得点に結びつけ開始5分、27-28と再び逆転に成功。終了間際に北見北4がシュートを決め、リードが何度も入れ替わった第3Qは33-28と北見北がリードで終了。

第4Q、光西は2・3Qと休ませていた4を投入し、逆転を試みる。光西4のピック・ドライブに対して北見北のヘルプディフェンスが素早く反応し、イージーなショットを許さない。北見北は4のシュートが決まりだし、徐々に点差を広げていく。北見北6のドライブからのキックアウト、ボールコントロールを光西は止められず、光西は北見北の攻撃リズムを崩すことができない。開始5分、46-34と点差が開いたところで光西がフルコートプレスを仕掛ける。残り43.6秒、48-39と北見北リードのところで光西がタイムアウト。タイム後、光西が3Pを決めるが追いつくには至らず。48-45で北見北が優勝。

記録:三鍋 健太(紋別市立潮見中学校)